

エアダイグラインダー 取扱説明書

品番：EA159DB-1

弊社取扱い製品をご購入頂きありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をよくお読み頂き、内容を理解した上で正しく安全にご使用ください。取扱説明書はいつでも閲覧できる場所へ保管してください。

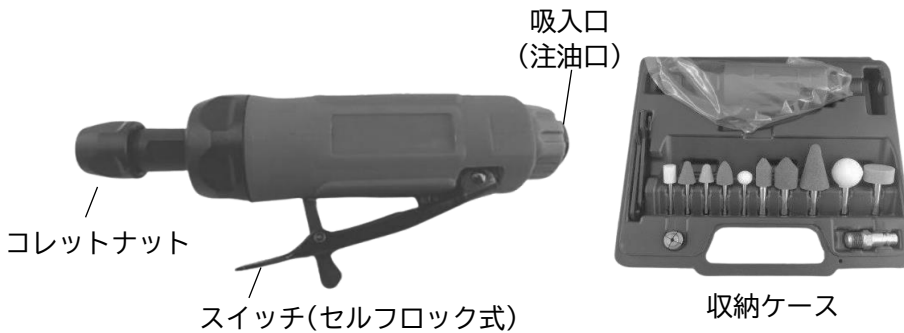
■注意事項

警告	誤った取扱いをした場合、死亡や重傷を負う恐れがあります。
注意	誤った取扱いをした場合、軽傷や財産の損害を負う恐れがあります。
禁止	してはいけない内容です。
必須	実行しなければならない内容です。

警告	
禁止	<ul style="list-style-type: none"> 金型や金属の研磨、鑄取り、バリ取り用途で使用します。用途外の使用はしない。 高圧ガス(酸素、アセチレンガス等)を動力としない。爆発の危険があります。エアコンプレッサーによる圧縮空気を使用すること。 爆発性雰囲気のある環境下では使用しない。 使用中は可動部に触らない。巻き込まれるような物は近づけない。手が触れると怪我をするおそれがあります。だぶついた服装やネクタイ、ネックレス、長い髪、布きれ等が巻き込まれるおそれがあります。 無理な体勢で使用しない。 長時間の連続使用をしない。騒音による難聴や、振動により疾病や腱鞘炎になるおそれがあります。 電気に接触させない。エアーツールは絶縁されていません、感電のおそれがあります。 投げたり落したり衝撃を与えない。事故や故障の原因となります。 分解や改造はしない。製品の破損や使用中の事故につながるおそれがあります。
必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> 使用時はゴーグル、マスク、手袋、耳栓の保護具を着用すること。 使用圧力をまもって、使用すること。 先端ツールの定格速度は、エアーツールの仕様の最高速度以上にする。先端ツールの定格速度以上で動かすと破損し飛び散るおそれがあります。

注意	
禁止	<ul style="list-style-type: none"> 使用時は、照明をつけるなど十分に明るい環境で行い、暗所では使用しない。 子供が触れる場所には置かない。
必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> 作業前には、各部を点検し損傷、異常がないか確認をすること。異常がある場合は使用しない。 作業場は整理整頓した状態で作業を行うこと。 各先端ツールの取付交換時、作業終了時、エアーツールの運搬時、異常を感じた場合はスイッチを切り、エアホースを外した状態にすること。

■各部名称



内容	数
エアダイグラインダー	1
3mm 軸付砥石 #80	5
6mm 軸付砥石 #80	5
3mm コレットチャック	1
6mm コレットチャック	1
プラグ	1
14mm スパナ	1
19mm スパナ	1
収納ケース	1

※ 6mmコレットチャックは本体に装着されています

■仕様

コレットチャックサイズ	3mm、6mm	使用エアホース内径	10mm
無負荷回転数	25,000rpm	使用コンプレッサー	2.2kW
使用圧力	0.62MPa	騒音値	<90dB(A) (ISO 15744)
空気消費量	73L/min	全長	155mm
吸入口ねじサイズ	Rc1/4"	重量	400g

<振動工具について>

三軸合成値：1.1m/s²

準拠規格：ISO 28927-12

日振動ばく露量A(8)は、厚生労働省の下記サイトで求めることができます。

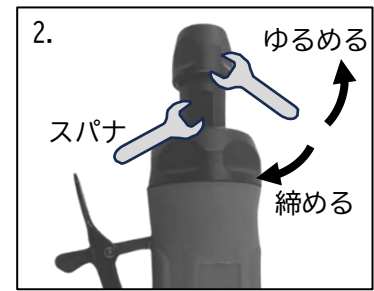
<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anken/dl/090820-2a.pdf>

■使用方法

1. 吸入口の保護キャップを外し、プラグを取り付けます。
2. 軸付砥石を取付ける際、付属のスパナで軸を固定し、もう一本のスパナで反時計回りに回すとコレットナットがゆるみます。

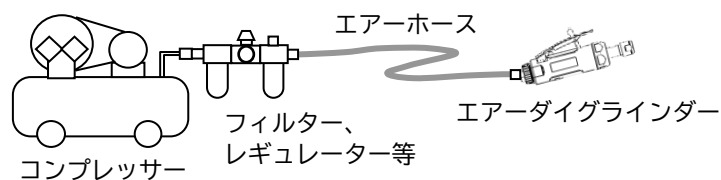
3mm軸付砥石の場合…3mmコレットチャック、
6mm軸付砥石の場合…6mmコレットチャック
を使用し軸付砥石を取り付けます。

軸付砥石－コレットナット－チャックを本体にセットし、
最後にコレットナットをスパナで締めて固定します。



3. プラグとエアホースを接続します。(接続の際はスイッチから手を離して作業をしてください)
4. スイッチを押すと先端が回転します。(セルフロックを倒した状態でスイッチを押してください、このロックは不用意にスイッチが入るのを防ぎます。また、スイッチを押している間、回転します。)
5. 作業終了時はエアホースを外してください。

【接続例】



■メンテナンス、保管

- ・ 乾燥した場所に保管してください。(湿気があるとサビが発生する場合があります。)
- ・ ゴミや異物が侵入しない様にし、取扱説明書と一緒に保管してください。
- ・ サビと摩耗を防ぐ為、各種エアツールを使用前に注油口より注油をしてください。(ISO VG10のエアツールオイルを数滴たらす)
- ・ 使用状況に応じ、定期点検を行ってください。